

令和3年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業  
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)  
 事業内容報告書の概要

地方公共団体名【飯塚市】
令和3年度に実施した取組の内容及び成果と課題
<p>1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)</p> <p>(1) 指導体制の構築      拠点校から兼務校への巡回指導(取り出し指導、入り込み指導)</p> <p>(2) 連携体制の構築      連絡協議会の開催(構成員は、教育委員会、在籍校の管理職、担当者、学級担任、日本語指導教師、日本語指導支援員 約40名)</p>
<p>2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること</p> <p>(1)連絡協議会の設置・運営      ○ 年間3回の連絡協議会を実施し、以下の内容について協議・周知を図った。      ・日本語指導教室の運営・指導体制について協議      ・特別の教育課程編成・個別の指導計画の作成について説明      ・日本語指導の必要な児童生徒への支援の在り方について講師を招聘し講話</p> <p>(2)学校における指導体制の構築      ○ 拠点校2校を設置し、日本語指導教師2名、日本語指導支援員1名の巡回による取り出し指導、入り込み指導の実施      ○ 日本語指導教師と在籍学級担任が連絡ノートを通して連携した指導の実施      ○ 来日直後の児童生徒への学習支援、生活支援の充実</p> <p>(3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施      ○ 「特別の教育課程」「個別の指導計画」のふり返し、改善の年間カリキュラムへの位置づけ</p> <p>(4)成果の普及      ○ 市の教育施策を紹介するパンフレット(1万3000部作成)で日本語指導教室の取組の発信</p> <p>(7)ICTを活用した教育・支援      ○ 一斉学習場面でポケトークを活用することによる児童生徒の学習参加意欲の向上      ○ 無料アプリ(ひらがな、カタカナ、漢字の練習、言葉の練習アプリ、植物図鑑等)、多言語翻訳アプリの活用</p>
<p>3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること</p> <p>(1)連絡協議会の設置・運営  <b>【成果】</b>      学校と巡回指導する日本語指導教師担当が連携して日本語指導の必要な児童生徒への指導・支援を行おうとする意識の向上を図ることができた。  <b>【課題】</b>      在籍学級での支援についての具体を提示し、学校生活全般で日本語指導の必要な児童生徒の支援を実施することができた。</p> <p>(2)学校における指導体制の構築  <b>【成果】</b>      在籍学級担任と密に連携をとり、個に応じたきめ細やかな指導・支援ができた。</p>

【課題】

在籍学級担任とより連携を深め、個に応じた日本語指導の実施

(3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施

【成果】

「特別の教育課程」「個別の指導計画」のふり返り、改善を年間カリキュラムに位置づけ、児童生徒の日本語能力に応じた指導

【課題】

年度途中の児童生徒数の増加に対応できる教員配置

(4)成果の普及

【成果】

日本語指導教室の取り組みについて市内に公表することができた。

【課題】

今後は、市のHP上で成果を広く公表していく。

(7)ICTを活用した教育・支援

【成果】

ICTを活用して学習することで、児童生徒の学習意欲の向上が見られた。

【課題】

児童生徒の日本語能力向上につながる教材の精選

	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	中等教育 学校	特別支援 学校
本事業で対応した幼児・児童 生徒数	人 (園)	21人 (6校)	8人 (5校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)
うち、特別の教育課程で指導 を受けた児童生徒数		21人 (6校)	8人 (5校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)

4. その他(今後の取組予定等)

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開する。